

---

## おわりに

今年も、各部門の責任者のもと、充実した年報を発行することができた。

「終わりに」として、三越厚生事業団の診療所並びに総合健診センターが長年培った実績を基に飛躍的な研究に参加することができたことを書き記したい。

1つは診療所が参加した新薬の国際共同治験である。コレステロールが中等度ないし強力なスタチンを使用しても、適切なコレステロールまで低下しない患者さんを対象に、世界初の経口PSK9を服用させ、コレステロールの低下作用を得られるのか、多施設共同、無作為、二重盲検、前向き治験をおこなっている。この治験はほぼ診療の全関連部門が参加しており、派遣された治験コーディネーターと協力しながら進行している。

2つ目は、総合健診センターで行っている、文部科学省科学研究費による、大学と三越厚生事業団の共同研究である。

HDLコレステロールは動脈硬化部位のコレステロールを引き抜くことにより、動脈硬化の退縮ひいては動脈硬化疾患である心疾患や脳血管障害の治療と予防に寄与する可能性がある。しかし、薬剤によりHDLコレステロールを上昇させるだけでは、心・脳血管障害が減らない、HDLコレステロールの値よりHDLコレステロールの引き抜き能が動脈硬化や心血管イベントに関与している。と言う仮説を、健康診断を行い、頸動脈エコーの検査を行った人を対象として検討している。

2つの説明が長すぎたが、今後、三越厚生事業団が進化し、発展していく方向性を示す端緒となることを期待したい。

最後に、この年報の基礎的データを蓄積してくれた全職員のたゆまぬ努力に感謝するとともに、年報を編集してくれた事務局の職員に深謝したい。

(水野杏一 記)